



刈谷市議会議長  
**山崎 高晴**

市民の皆さま、明けましておめでとうございます。  
 健やかで、希望に満ちた初春をお迎えのこととお喜び申し上げます。  
 旧年中は、市議会に対する温かいご支援、ご理解を賜り、心から感謝申し上げます。  
 さて、毎年のように起きる自然災害により昨年も全国各地で甚大な被害が発生しました。本市におきましても台風や大雨、南海トラフ地震などへの対策は喫緊の課題であり、その他にも少子高齢やAI社会の到来など諸課題に対応したまちづくりを進めていかなければなりません。  
 市議会といたしましても、その役割と責任の重さを認識し、バランスの取れたより豊かで住み良いまちづくりに向け取り組んでまいります。  
 また、昨年からは令和という新しい時代を迎えましたが、本市議会でも、昨年6月の選挙により新たな議会活動をスタートさせました。また、市民の皆さまにとってわかりやすい議会を目指すため、議場システムを更新し、電子表決の導入や傍聴席にモニターを設置しました。今後も各々の議員が切磋琢磨する中で、「開かれた議会」、「信頼される議会」を目指し、議員一丸となって、全力で取り組んでまいりますので、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。  
 そして、本市は市制施行70周年を迎えます。これまで本市の発展のためにご尽力いただきました方々、そして市民の皆さまに心から敬意を表し、感謝申し上げます。  
 結びに、市民の皆さまのご健康、ご多幸を祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

# 謹賀新年



刈谷市長  
**稲垣 武**



明けましておめでとうございます。  
 市民の皆さまには、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。  
 昨年を振り返りますと、平成から令和へと新たな時代を迎えましたが、スポーツ界でも3月にメジャーリーグのイチロー選手引退発表、6月にバスケットボール八村塁選手の史上初のNBA1巡目指名という象徴的なニュースがありました。  
 一方で、8月の九州北部豪雨、9月の台風15号、10月の台風19号により大きな被害が発生しました。本市からの支援として、千葉県へトイレットレーラーを、栃木県へ職員を派遣しており、早期の復旧を願うところです。  
 さて、本年4月には市制施行70周年を迎えます。その節目の年に、これからの刈谷市を考える契機となるよう、さまざまな記念事業を予定しておりますので、ぜひご参加ください。  
 また、3月には銀座AB地区の整備が完了し、本市の新たなランドマークとなることが期待されます。  
 そして11月には男女共同参画社会の実現に向けた国内最大級の会議であります「日本女性会議2020あいち刈谷」を開催し、本市を全国へPRしてまいります。既に取り組んでいる待機児童対策や特殊詐欺対策、安全運転装置の設置支援といった高齢者の安全確保など、皆さまが安心して元気に住み続けられ、笑顔に満ちあふれ、未来へ希望が持てるよう、「人が輝く 安心快適な産業文化都市」の実現を目指し、各種施策に取り組んでまいりますので、引き続き市政へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。  
 最後に、本年が、市民の皆さまにとりまして幸多き年となりますようお祈り申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。



ミササガ市長  
**ボニー・クロンビー**

ミササガ市を代表して、謹んで新年のお喜びを申し上げます。  
 ミササガ市と刈谷市は、長く豊かな姉妹都市の関係を築いてまいりました。これから先も強い結びつきが続くことを信じています。  
 昨年度、カナダと日本の国交は90周年を迎え、今年度この偉業をお祝いするための行事に、高円宮妃殿下にご臨席を賜りました。これは名誉であるだけでなく、カナダと日本の輝かしい未来を約束するものであります。  
 ミササガ市としても、日本は文化的にも経済的にも重要であり、刈谷市のような素晴らしい市と強い絆で結ばれていることはとても誇りです。  
 幸せと、繁栄と、そして健康で満ちた良いお年をお過ごしください。刈谷市とミササガ市はいつも一緒です。

